

平成 29 年度事業報告書

1. リハビリテーションの振興・調査研究事業

障害者の自立、社会参加、生活の質(QOL)の向上を図るため、障害者の保健福祉に関わる研究等を、次のとおり実施した。

- (1) 総合リハビリテーション研究大会の開催等
- (2) 日本障害フォーラム(JDF)への参加と協力
- (3) 障害者放送協議会への参加と協力

2. 国際協力・交流事業

2017年に中間年を迎え、後半5年の行動計画も採択された、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)決議による「アジア太平洋障害者の十年」(2013-2022)の推進に向けたESCAPの活動に対し、APDFの加盟団体としてのJDFと共に協力した。

国連総会で採択されたアジェンダ 2030(2016年以降の持続可能な開発目標:SDGs)について、障害分野NGO連絡会(JANNET)と共に、SDGsの大きな目的である「誰も取り残さない社会」作りのための活動に取り組んだ。

また、国際リハビリテーション協会(RI)、APDF、JDF、JANNET並びにJICAとの連携を密にし、国際協力・交流を積極的に促進した。

- (1) 新「アジア太平洋障害者の十年」の推進活動
- (2) 国際リハビリテーション協会(RI = Rehabilitation International)への参加と事業推進
- (3) 国際協力・交流プロジェクトの推進
- (4) 国際研修事業の実施

3. 情報収集・提供事業

障害者の自立と社会参加、生活の質(QOL)の向上を図る上で、必要不可欠な情報の入手、コミュニケーションの推進を図った。

- (1) 障害者の情報活用推進事業
- (2) DAISY(Digital Accessible Information System)開発普及推進事業
- (3) 出版事業等